

広報うねだ2.1

平成25年
No.165

CONTENTS

- 2 新春対談 地域に貢献する大学の取組
- 8 「わがまち魅力アップ応援事業」
平成25年度事業を募集
- 10 情報ピックアップ
- 12 情報ア・ラ・カルト
- 21 上田のお宝発見!
- 23 九度山世界遺産マラソン大会に
市民ランナーが参加
- 24 四ツ葉スケッチ
- 26 平成25年上田市成人式
- 28 読者通信



地域に貢献する大学の取組



長野大学学長の
の はら
野原 光 氏



信州大学副学長・繊維学部長
は ま だ く に ひ ろ
濱田 州博 氏



上田市市長
母袋 創一

上田市には、信州大学繊維学部、長野大学、上田女子短期大学、長野県工科短期大学があり、それぞれ個性的・特徴的な学術研究を行っています。また、複数の専門学校があり、多くの学生が学び生活する「学生のまち」としての特色を持っています。

市では、大学などの専門的教育研究の成果をまちづくりに生かすとともに、併せて県内外から集う学生たちにより、まちづくりに関心を持ってもらうことで、まちづくり活動への参加・参画による活気ある上田市を目指しています。この「協働のまちづくり」の理念のもと、平成17年3月に市内の4つの大学などと連携協定を締結し、環境、健康、教育、産業、学術など様々な分野で連携を図っています。

こうした中、昨年、日本経済新聞社産業地域研究所が全国733の4年制大学を対象に行った地域貢献度調査（※）では、信州大学が1位、長野大学が4位（私立大学1位）に輝きました。この結果を受け、今回、母袋市長をコーディネーターに、信州大学繊維学部の濱田州博学部長と長野大学の野原光学部長、両大学の学生の皆さんと大学の地域貢献活動や、まちづくりについての対談を行いました。

市と市内4大学の連携

市と市内4大学は、各学校を会場に講座を開く「4大学リレー講座」の開催、学生の就業体験に協力する「インターンシップ事業」の実施、「上田地域産業展」への参加などのほか、各大学と幅広い分野に渡り、次のとおり連携を進めています。

信州大学	● 上田市産学官連携施設（AREC）^{エーレック}での産学の共同開発研究の促進 ● 地域医療再生のため信州上田医療センターへの医師の派遣
長野大学	● 地域づくりや地域福祉を担う人材育成のための講座 ● 地元農産物の普及・ブランド化など地産地消の推進 ● 小学校で授業のサポートを行う学校支援ボランティアの派遣
上田女子短期大学	● 上田情報ライブラリーでの学生による幼児など対象の読み聞かせ会 ● 各地の公民館などでの古典文学講座
長野県工科短期大学校	● 親子向け工作教室の開催など次代を担う子どもたちの「ものづくり」への関心を深める取組

※全国大学の地域貢献度調査

大学が人材や研究成果をどれだけ地域社会に役立っているかを調査するもので、平成18年から毎年行われています。調査は、地域貢献に関する質問を「組織・制度」、「ボランティア・防災」、「学生」、「企業・行政」、「住民」の5分野から計23問設け、回答を点数化してランキング化したものです。

問 市民参加・協働推進課

TEL 22・41000（内線1354）

大学の地域貢献と役割

市との連携と 地域貢献の取組

市長 地域貢献度調査において輝かしい評価を受けられ、大変おめでとうございます。始めにそれぞれの大学の取組をお聞きたいと思っています。



信州大学繊維学部内にある上田市産学官連携施設(AREC)では、企業向けセミナーなど様々な連携が行われている。

濱田学部長 信州大学と上田

市との連携は、どこの地域もそうですが、医師不足などの問題があります。これに対して医学部から医師を派遣したり、また、いかに健康年齢を伸ばすかということについての講演活動などに協力させていただいています。

繊維学部の関係では、上田市産学官連携支援施設(通称AREC・浅間リサーチエクステンションセンターの略称)が学部内にあり、そこを中心にして市内にある企業などと様々な形で産学連携をしたり、企業向けの講演活動を行なっており、それが一番の連携だと思っています。今後もARECを中心に上田市と深い連携をさせていただきたいと思っています。

その他に、子どもたちに理科や技術の楽しさを知ってもらうことにも重点をおいて、地域の小中学生を対象とした「ときめきサイエンス」という実験教室の開催や、ロボットコンテストへの教員の協力など、子どもたちへの教

育についても、貢献していると考えています。

市長 続いて、長野大学の野原

学長はいかがでしょう。

野原学長 全国の私立大学の地

域貢献度で3年連続総合1位という評価をいただきました。

その内容を具体的に紹介します。うえだみどり大根、山口

大根などの地物野菜を復活させ、ブランド化させる試み、

地元の小学校などへの学校支援ボランティアの派遣、市と

共同で地域づくりコーディネートーター養成講座の開催など

を行っています。その他に、里山で利用されなくなった雑

木林を復活させ、もう一度生活の中で利用することを考える

取組、福島原発被害に遭った農家の上田移住を支援し、

耕作放棄地の農業復活に向けた取組、あるいは学生による

上田バスの車体の色彩デザインなども行なっています。

これらの取組に対する考え方については、長野大学は、

もともと旧塩田町の支援を受け、地域の大学として誕生し

ました。長野大学の建学の理

念は「学問の生活化」であること

から、学問を暮らしに生かし、暮らしの知恵から学問を

学ぶという精神で取り組んでいます。具体的には、専門知識

を持った教員と学生が地域に出て、地域が抱えている問

題の解決に一緒に取り組むということ

です。その中で、学生は問題解決のために何を学

ぶ必要があるのかを知り、地域の大人の生き方や、人生の

知恵を学び、自分の生き方を考え直すという教育効果が非

常に大きいと思います。教員は、地域の問題に取り組み、

さらに深く研究すべき問題を発見し、大学に持ち帰って研

究するということです。

地域の中で果たす 大学の役割

市長 次に、学生の取組への支

援や、地域の中で大学の役割についてお聞かせください。

濱田学部長 学生への支援で

は、サテライトベンチャービジネスラボトリーという組

織があり、学生の起業、ベンチャー的な活動への支援をし

ています。最近では、地元の企業と一緒にかりんとうに桑

の葉の成分を入れて「くわりまんとう」というものを作りま



長野大学の学校支援ボランティアの子どもへの派遣活動の様子。

した。

就職活動への支援としては、今は地域に良い企業があるのを目を向けず、マッチングがうまくいかないことがありますので、ARECと連携し就活コンパというものを開催し、宴会をしながら学生と地域企業の社長が、接する機会を作っています。学生にはかなり好評で、社長にも若者の意見が自由に聞けると、好評をいただいています。



対談は、長野大学の図書館で行われた。

市長 就職の際に、よくミス
マッチということが言われま
すが、そういうことをなくす
ためにも、学生時代から就活
コンパの場で、企業を知ると
いうことですね。続いて長野
大学はいかがですか。
野原学長 地域との関わりで私
たちは、「教員」「学生」「大
学組織」の3つの役割を意識
しています。
教員の役割では、私たちは
地元に住み着いた鞍馬天狗に
なりたいと思っています。鞍

馬天狗は、問題があるところ
から来て、解決して去って
行きますが、私たちは、地元
の大学で、教員も皆地元に住
んでいます。問題を解決する
と同時に、問題があるところ
に暮らしている人間というこ
とです。それが地域貢献には
大きいと思っています。
学生の役割については、学
生が地元の問題に取り組む中
で育ち、地域社会の中で生活
し、就業するようになること
だと思っています。

今後の取組 将来へのビジョン

市長 今後のような学校にし
たいか、学生を育てたいか、
ビジョン、夢を話していただ
けますか。
大学組織の役割としては、
大学が眠っている地域の資源
を専門家の目で見えて、掘り起
こし、再活用することの取り
まとめ役になることだと考え
ています。



信州大学、長野
大学、ARECが連
携して開催した
就活コンパは、
学生と地域企業
の経営者が交流
する新たな機会
となった。

信州大学

今後、大学全体で地域課題に対応する組織を検討



信州大学理事・副学長
(産学官連携担当)
みうら よしまさ
三浦 義正氏

信州大学は、キャンパスが広く県内に分散していますが、それぞれの学部が、様々な分野で地域貢献に取り組み、それを総合した結果が今回の地域貢献度調査の評価につながったと思います。

信州大学が最初に産学官連携を始めたのが上田市で、平成14年に繊維学部内に上田市産学官連携施設エーレック(AREC)ができ、その後、長野市、松本市へと展開しています。

ARECには伝統があり、180社以上の会社と一緒に技術開発や新産業創出などを目的に活動しています。地域の有力な中堅企業の多くの経営者が大学に入ってきてくれ、大学に力を貸してくれることから、こういった企業の方々は大学の応援団だと思っていますし、都会にはない強みで、こういう点からも信州大学は、地域密着の大学だと思っており、また、その点が評価されたと思っています。

今後は、大学として地域の問題を聞き、解決するプロジェクトを考えています。例えば、信州大学が上田市の課題を聞き、どの学部のどの教員が対応するかを考える仕組みです。自治体からの要望は複雑で、県との連携もあるので、一つの学部では対応できない課題を各学部が共同で対応する、地域との連携センター的なものを組織化していくことを考えています。そのようなことが、今後の地域貢献としては必要だと思っています。

長野大学の学生ボランティアが長野県北部地震で被災した栄村で田のあぜ作りをした。



濱田学部長 繊維学部は、日本では信州大学にしかないオンラインワンの学部です。しかし、世界を見ると、ヨーロッパなどの大学にも繊維学部があります。そこでは次の時代の繊維を見据え、様々な取組を行っています。私たちもオンラインワンだから良いのではなく、その中でグローバルベクトルを目指すことが目標です。そのときに、上田と世界をつなぐ拠点になることが、地域での役割の一つだと思っています。また、商工会議所と一緒にやっている上田紬の復興がありますので、私たちと一緒に上田紬も世界に羽ばたければと考えています。そのような形で繊維学部が拠点になり、「繊維学部があるか



ら上田に進出しよう」という企業が増えれば、さらに上田に対して様々な協力ができると思いますし、将来的には、そのような企業も呼び込めるような学部になりたいと思っています。

市長 素晴らしい。企業誘致にもなり、産学官連携が更に進化をしていくことだと思います。おおいに期待しています。

野原学長 長野大学としては、一つは地元にある地物の知恵、伝統、技術を掘り起こして、磨きをかけ、組み合わせ、地域興しに結び付けるコーディネート（世話役）となることです。大学の役割だと思っています。研究者、学者が個々の埋もれた資源を手直しして使えるようにする優れた修理職人のように、腕を磨いていきたいと思っています。もう一つは、足腰の強い、自分の頭で考える自立した市民として、地域に根を下し社会を担ってくれる学生を送り出したいと思っています。

市長 地域貢献がそれぞれの大学の持ち味で十分果たされていると強く感じました。地域にとっても、学校、学生にとっても、良い学びの場になって欲しいと願っています。今日はありがとうございました。

長野大学

地域貢献をテーマにした教育内容を充実



長野大学環境ツーリズム学部学部長・地域連携センター長
安井 幸次氏

地域連携センターの前身である生涯学習センターを平成5年に設置して以来、約20年にわたり地域住民向け公開講座を積極的に開講するなど、地域密着の取組を行ってきたことと、3学部の教育内容に、観光振興、まちづくり、福祉、医療、子育て支援、地域産業活性化、ボランティア、防災などの地域貢献をテーマにした活動を組み込んでいることが地域貢献度調査で高く評価されたと思います。また、長野県北部地震で被災した栄村へボランティアを継続的に派遣し、現在では復興に向けて住民要望などの聞き取り調査を行い、復興計画を具体化する際に反映できるよう活動しています。災害支援ボランティアの派遣は阪神淡路大震災、新潟県中越地震、新潟県中越沖地震と継続的に行っています。

学生分野で高く評価されたのは地元就職率で、全国平均の51.9%に対し、長野大学は80.3%の学生が県内で就職しています。県外からの学生もいますが、上田が気に入る上田で就職する学生もいます。

今回の調査で、地域との関わりについて自己点検ができました。結果を検証、評価し、今後、活動の一層の充実を図っていききたいと思います。また、教員個々と地域とのつながりも生かしながら、大学の組織としてコーディネートしていきたいと考えています。今後はそのようなことが一層求められると思っています。

学生が取り組んだ地域貢献活動

市長 4人の大学生にお越しいただきました。自己紹介と地域貢献活動の内容について紹介してください。

真島 信州大学の真島正博です。佐賀県出身です。私たちが学ぶ「感性工学」という考え



ましま まさひろ
真島 正博さん
信州大学大学院工学系研究科
修士課程感性工学専攻2年

小さい軍手「ちび軍手」を配布し、子どもたちに長野の冬を楽しく安全に過ごしてもらおうという活動です。

市長 子どもたちの反応や人気はどうですか。今回は、長野県下の小学1年生に配布しているということですね。

真島 贈呈式で小学校へ行き、小学生に手渡していますが、ものすごく喜んでくれます。今年度は、県全域の小学1年生約1万8000人に無料配布しています。

市長 大変な数量ですが、活動はこれからもぜひ後輩へ引き継いでいってください。続いて、長野大学の地域貢献活動の取組について樋口さんからお話してください。



ひぐち ころろさん
長野大学
環境ツーリズム学部4年

樋口 長野大学環境ツーリズム学部4年の樋口ころろです

です。岡山県出身です。私たちが行ってきた活動について紹介します。まず、平成21年11月、柳町にオープンしたコラボ食堂で、古民家だった家屋へウッドデッキの設置や、壁の塗装などワークショップに参加しながら建設のサポートを行いました。平成22年2月、上田の名物おやきを発掘して多くの人に知ってもらおうと、コラボ食堂で「おやきフェスティバル」を開催。おやき店に地鶏の真田丸を使ったおやきを作ってもらいました。が、お土産で持ち帰りたいなど参加者の反響は大きく、イベントをやつてよかったと思います。また、平成22年11月からは、JR東日本の「駅からハイキング」を共同企画で行ってきました。上田駅から上田の街並を歩くコースと、別所線下之郷駅から別所温泉までを歩くコースの2コースを作り、途中で伝統野菜の山口大根の天ぷらを振る舞うなど、おもてなし企画を実施し、上田の魅力を肌で感じてもらうたと思います。

市長 芳池さん、宮崎さんが関わった活動を紹介してください。



よしけ ゆめほ
芳池 夢穂さん
長野大学
環境ツーリズム学部4年

芳池 環境ツーリズム学部4年の芳池夢穂です。地元上田市出身です。私は、駅からハイキングやおやき作り、コラボ食堂での取組に関わりました。地元出身なのに、これまで歩いたことがなかった市街地を実際に歩くと、昔ながらの街並みが残っていることなどが発見でき、また、お客様にも上田の魅力を伝えることができて楽しかったです。



みやざき りなの
宮崎 莉乃さん
長野大学
環境ツーリズム学部4年

宮崎 環境ツーリズム学部4年の宮崎莉乃です。群馬県嬬恋村出身です。私は、駅からハイキングへスタッフとして参加し、コース案内やコメント

入りのマップを大学のデザインサークルに作成してもらったなど、すべて手作りで行い、お客様に喜んでいただきました。参加者アンケートでも、学生の対応やコースマップに対する評価が高く、喜んでいただけたと思います。

地域がフィールドワークの実践の場になった

市長 大学時代に、地域住民や観光客と接して色々と感じることでできたのは貴重な経験で、東京にいてはできないことです。地域との触れ合いは、地方の大学で学ぶ良さがあると、皆さんの話を聞いて感じました。地域貢献活動を通じて学んだこと、感じたことについて教えてください。

真島 活動を通じ、学生スタッフだけではできないことが多くあることを痛感しました。商店街でのイベントや、軍手を販売してもらったため、商店主さんにお願いをしに行くと、快くアドバイスをしてくれました。学生の活動も、もともと地域や住民を巻き込んで活動することが大切だと実感しています。

樋口 私は岡山県出身ですが、環境、観光、地域貢献分野を



軍手



対談する母袋市長、真島さん、樋口さん、芳池さん、宮崎さん

勉強できることを知り長野大学を選びました。実際に、こんなに多く地域に出て活動するとは思っていませんでした。地域の方々と活動を行う時は、とても温かく接してくれて、温かい言葉をいただきました。主体的に活動しネットワークを築けたことは、本当にありがたいと感じています。

市長 主体的に活動するという積極的な姿勢は、社会に出てかなり役立つと思います。

芳池 私は、地元において観光を学べるので長野大学へ入学しました。ふだんは観光でサービスを受ける側ですが、授業でサービスを与える側の大変さや、仕組みを学びました。また、学んだことを実践できるフィールドワークを通じて、実践して学ぶことの大切さを学びました。

市長 愛する上田に長く住んでもらえるよう期待しています。上田市は昨年、嬭恋村と定住自立圏形成協定を締結しました。また、真田街道推進機構が発足し、真田氏を軸に、まちづくりやイベントに取り組んでいます。宮崎さんはどう感じていますか。

宮崎 嬭恋村も農業や観光に力を入れていますが、まだまだ



信州大学生のハナサカ軍手プロジェクトでは、ちび軍手を全県の小学1年生へ贈呈した。

観光客は多くありません。私も、駅からハイキングを通じて、青森や京都など県外から多くの観光客が上田へ来ていることを知り、上田の人気を実感しました。観光客や地域の方々とのイベントに関わり、上田の魅力を学生としてアピールできたと考えています。今後は、大学で培った力を活かし、上田の人気に便乗し、嬭恋村への観光客と一緒に増やしていけたらと思います。

地域活動で学んだことを自分の将来へ活かしたい

市長 最後に、皆さんが経験し学んだことを、今後、どう活かしていくかお聞かせください。



長野大学生が柳町のコラボ食堂でおやきフェスティバルを開催した。

真島 私は、軍手という活動を通じ、地域の人を巻き込んで一緒に活動することの大切さやエネルギーの大きさを実感しました。この先、就職しても、会社や自分たちの世界だけで何かを進めるのではなく、もっと色々な人や地域を巻き込んでいくような仕事をしていきたいと思っています。

樋口 私は、訪れた人やお客様にどのようなサービスを提供できるかを考えながら、観光を学んできました。これからそのことを活かし、夢を追いかけるが、お客様の笑顔が見られるような仕事をしていきたいと感じています。

芳池 大学生生活で学んだこと、自分で感じた上田の魅力的な

場所を、上田を訪れた人や市民に「案内係」になったつもりで案内したいと思っています。また、市民がもっと地域を好きになれるよう、私がその先駆けになっていきたいと思っています。

宮崎 大学生生活では学校以外の人と関わり、コミュニケーションの大切さ、おもてなしの心などを学びました。社会に出て、その気持ちを大切にして働きたいと思いますし、私が感じた上田の魅力を嬭恋村や県外の知り合いにも紹介し、上田市との関係を持てたらと考えています。

市長 皆さんありがとうございます。今回の対談を通じて、大学と地域の連携強化が必要だと感じました。大学側から見ると、地域へどんなことができるのか、今の時代に求められていることであり、そして、行政、地域住民が大学の存在をもっと見つけて、学生とどのような連携ができるのか、お互いに学び合うことが必要だと感じました。

私たちも引き続きおいに学生の活動、あるいは大学の取組に協調し、協働作業で連携を進めていきたいと思っています。

制度充実

「わがまち魅力アップ応援事業」 平成25年度の事業を募集します

わがまち魅力アップ応援事業は、まちづくりの主役である市民の皆さん自らが、創意工夫により地域の魅力を高め、市民の交流を促進する自主的・主体的な取組について市が積極的に応援するものです。

この事業により、自治会では固有の歴史や文化、特色ある自然を生かした地域づくり、安全・安心な地域づくりなどが行われ、住民相互の連帯感が高まり、また、市民団体では各種イベント開催、防犯・防災、子育てなど幅広いジャンルで主体的な活動が展開され、地域の活性化に貢献しています。

平成24年度までの5年間では自治会、市民活動団体で延べ430件の事業が実施され、地域課題の解決や市内各地で魅力アップが図られています。

市では、これまでにいただいた市民の皆さんからのご要望を踏まえ、また、地域内分権および市民の参加と協働によるまちづくりを推進するため、平成25年度から制度をさらに充実し、引き続き皆さんの活動を応援していきますので、お気軽にご相談ください。皆さんの積極的なご応募をお待ちしています。



蜷の復活に向けた蜷水路づくり
(上田地域)



市民による新しいバイパスの
景観美化のための花壇づくり(丸子地域)



地域内の史跡などを紹介する
案内看板の設置(真田地域)



夏祭りでの盆踊りの復活と
新作踊りの創作・普及(武石地域)

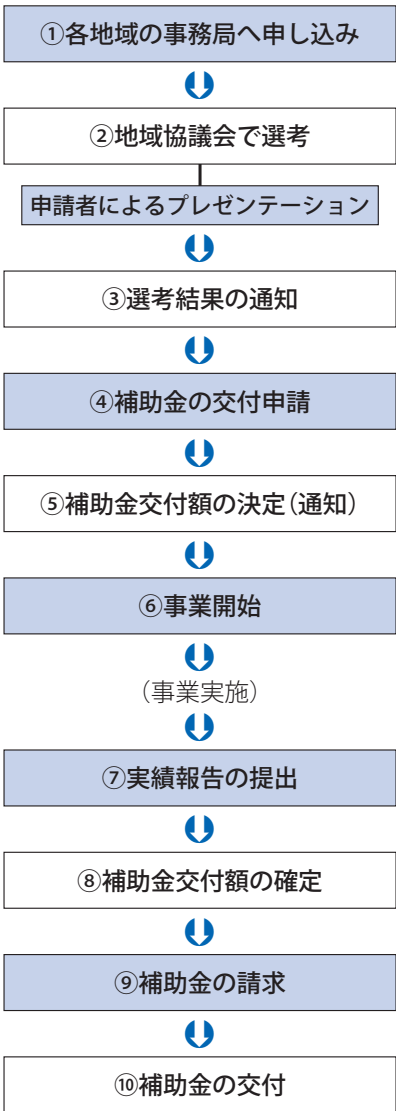
(これまで行われた事業の事例は市のホームページ「わがまち魅力アップ応援事業」でご覧いただけます)

新制度の主な内容

「個性あるふるさとづくり応援事業(自治会対象・補助限度額150万円、補助期間5年以内)」と「特色あるまちづくり応援事業(市民活動団体対象・補助限度額100万円、補助期間2年以内)」を一本化し、制度を改正して次の点などを充実しました。

- ・ 補助限度額の増額(100万円または150万円→200万円)
- ・ 市民活動団体の補助期間の延長(2年以内→5年以内)
- ・ 応募機会の増加(年1回→年3回)
- ・ 新たに取り組む事業は何度でも申請が可能(1自治会1事業限りを廃止)
- ・ 同一年度内に複数の事業への申請が可能

応募から補助金交付までの流れ



■=申請者に行なっていただく内容

- ※他の補助事業との併用はできません。
- ※交付決定前に実施した事業は対象外となります。
- ※交付決定後、特に必要があると認められる場合は交付決定額の8割まで概算で支払うことが可能です。
- ※事業完了後、事業報告会で報告を行っていただく予定です。

平成25年度わがまち魅力アップ応援事業の概要

項目	内容
対象者	自治会、自治会連合会、5人以上の市民活動団体
対象となる事業	自治会や各種市民活動団体などが地域課題の解決や地域の活性化に向けて、自主的・主体的に取り組む事業
補助限度額	200万円(補助期間内の総額)
補助期間	5年以内
対象経費	謝金、旅費・交通費、消耗品費、印刷製本費、燃料費、通信費、保険料、委託費、使用料および賃借料、原材料費、備品購入費
補助率	補助対象経費の10/10以内
募集回数	年3回 (今回の募集のほか6月・9月にも募集予定)

※委託費、備品購入費については補助金の交付額に一部制限があります。詳しくは問い合わせください。

募集期間

2月1日(金)～28日(木)

事業の選考

事業実施地域の地域協議会による審査会を実施します。申請団体の皆さんに事業内容の説明(プレゼンテーション)を行っていただきます。

応募方法

市役所・各地域自治センターなど(下表の応募先)にある所定の申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要な事項を記入し、主たる事業を実施する地域の地域自治センター・公民館(市内全域の場合は市役所本庁舎2階市民参加・協働推進課)へ2月28日(木)までに提出してください(郵送不可)。

今回の募集は、平成25年度予算の成立の後、速やかに補助事業を開始できるようにするため、事前に手続きを行うものです。平成25年度予算の成立が前提であり、予算の状況により補助事業の内容などに変更がある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ・応募先

主たる事業実施地区(地域)	選考機関	応募先(地域協議会事務局)	電話番号
市内全域	地域協議会正副会長会	市役所本庁舎市民参加・協働推進課	TEL22・4100 (内線1354)
東部、南部、中央、北部、神川	上田中央地域協議会	中央公民館	TEL22・0760
西部、塩尻	上田西部地域協議会	西部公民館	TEL27・7544
城下、川辺・泉田	上田城南地域協議会	城南公民館	TEL27・7618
神科、豊殿	神科・豊殿地域協議会	豊殿地域自治センター	TEL35・2939
東塩田、中塩田、西塩田、別所温泉	塩田地域協議会	塩田地域自治センター	TEL38・3000
川西	川西地域協議会	川西地域自治センター	TEL75・5840
丸子地域	丸子地域協議会	丸子地域自治センター地域振興課	TEL42・1011
真田地域	真田地域協議会	真田地域自治センター地域振興課	TEL72・2202
武石地域	武石地域協議会	武石地域自治センター地域振興課	TEL85・2824

※「わがまち魅力アップ応援事業の制度充実と募集」については、上田市行政チャンネル「ようこそ市長室へ」で2月8日(金)～14日(木)まで放送しますのでご覧ください。

催し 今回のテーマは「歴史に学ぶ」 2013シリーズ文化講演会

各界で活躍されている個性豊かな3人の講師を迎え、「歴史に学ぶ」をテーマに市内文化団体が合同で開催します。ぜひご来場ください(入場無料。申し込み不要)。

◇第1回

- 日時 2月23日(土)午後1時30分～3時(開場1時)
- 場所 丸子文化会館セレスホール
- テーマ 「1色の虹よりカラフルな虹がいい」
- 講師 にしゃんた氏(羽衣国際大学准教授)
- 定員 800名

問 丸 教育事務所 TEL42・3147



にしゃんた氏

◇第2回

- 日時 3月9日(土)午後1時30分～3時(開場1時)
- 場所 真田中央公民館ホール
- テーマ 「大坂の陣と真田幸村伝説」
- 講師 北川央氏(大阪城天守閣研究主幹)
- 定員 400名

問 真 教育事務所 TEL72・2655



北川央氏

◇第3回

- 日時 3月16日(土)午後1時30分～3時(開場1時)
- 場所 上田文化会館ホール
- テーマ 「幕末の藩士・吉田松陰と高杉晋作、三吉慎蔵に学ぶ」
- 講師 原田大二郎氏(俳優)
- 定員 500名

問 市 文化振興課 TEL23・6361



原田大二郎氏

お知らせ 工場や店舗などの事業所が対象 事業所への太陽光発電の設置を支援

工場や店舗などの事業所への太陽光発電システムの設置について、補助金や低利の制度融資のあっせんを行っていますので、お気軽にご相談ください(手続や条件の詳細などについては、問い合わせください)。

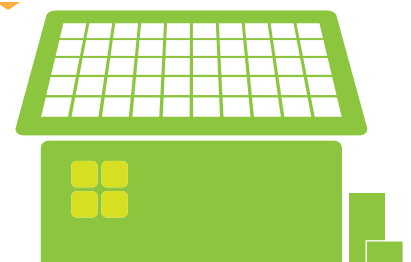
◇補助金

- 名称 事業所用太陽光発電システム設置費補助金
- 対象設備 太陽電池の最大出力が10kw未満の設備
- 補助金額 1kwあたり6万1,000円(賃貸用アパートやマンションなど、国(J-PEC)の補助金の対象となる場合は、2万6,000円)
- その他 3月29日(金)までに設備工事や電力会社との契約が終了することが必要です。

◇制度融資

- 名称 環境保全資金
- 金利 年1.8%(利子補給あり)
- 信用保証料 全額市が補助
- 限度額 3,000万円
- 返済期間 7年以内

問 市 商工課 TEL23・5395





魅力ある地域づくりに向けて 地域経営フォーラム

地元出身の聲山美耶子アナウンサーの進行により、テレビ・ラジオでおなじみの長野経済研究所小澤吉則調査部長と実際に経営をされている3名をパネラーに迎え、企業・地域の経営について議論を深めます。

わが社のファンを多く作るためには、信頼される企業になるためには、そして魅力と誇れる地域創生のために何ができるか、皆さんと共に語ります。

日時 2月19日(火)午後5時～(約1時間30分)

場所 丸子文化会館小ホール

◇第一部・講演

演題 「今こそ求められる企業・地域のブランド化」

講師 小澤吉則氏(長野経済研究所調査部長)

◇第二部・パネルディスカッション

テーマ 「信頼され続ける企業を目指して、大切にしていること」

パネラー 柳原幸生氏(株)柳原製作所代表取締役)、滝澤光次氏(信州銘醸(株)代表取締役)、丸山和敏氏(丸子中央総合病院院長)

司会 聲山美耶子氏(信越放送アナウンサー、武石地域出身)

コメンテーター 小澤吉則氏

◇共通事項

参加費 無料

その他 詳細は、丸子工業振興会事務局へお問い合わせください。

問 丸子工業振興会事務局(丸)産業観光課内 TEL42・1047



小澤吉則氏



聲山美耶子氏



災害時の迅速かつ円滑な応急活動のために 被災建築物等の解体撤去、電気保安に関する協定を締結

市は、昨年12月18日に協同組合長野県解体工事業協会と「地震等大規模災害時における被災建築物等の解体撤去に関する協定」、一般財団法人中部電気保安協会長野支店と「災害時における電気の保安に関する協定」の調印を行いました。

大規模災害発生時には、物資の輸送路の確保や救出救護活動のため、支障となる被災建築物などの解体撤去が必要となるほか、市の防災上重要な施設である庁舎や避難場所となる小中学校施設などの電源の確保が必要となります。

今回の協定締結により、市では、迅速かつ円滑に応急活動を進めることができるとともに、市の施設への電源復旧における安全性を確保することができます。

問 危機管理防災課 TEL21・0123



母袋市長と倉持高久中部電気保安協会長野支店長(右側)



江本源俊長野県解体工事業協会理事長(左側)と母袋市長

お知らせ

2月は児童手当・特例給付の支給月です

児童手当・特例給付を受給中の方へ平成24年10月分から平成25年1月分までの児童手当・特例給付を2月8日(金)に指定口座に振り込みます。通帳の記帳によりご確認ください。

なお、児童手当・特例給付の受給資格が分からずに申請をされていない方や、お子さんが生まれた方、上田市へ転入したばかりで手続きが済んでいない方などは認定請求をしてください(公務員の方は勤務先に問い合わせください)。

問 市子育て・子育て支援課

●健康福祉課 TEL 23・5106
●健康福祉課 TEL 42・1039
●健康福祉課 TEL 72・2203
●健康福祉課 TEL 85・2067

証明書の一部発行を休止

システムの更新により次のとおり証明書の発行を休止します。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

●休止する証明書 所得証明書、納税証明書(軽自動車税含む)

●期日 2月9日(土)・10日(日)・11日(月・祝)

●場所 上田情報ライブラリー

お知らせ

問 市税務課

TEL 23・5115

問 市収納管理課

TEL 23・5117

問 市情報推進課

TEL 23・8241

あいそめの湯臨時休館

館内設備保守点検のため、次の期間あいそめの湯を臨時休館します。ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。

●内容 全館休館/2月25日(月)~27日(水)、岩盤浴休業/2月25日(月)~3月1日(金)

※2月28日(木)から岩盤浴以外の施設はご利用できます。

問 あいそめの湯

TEL 38・2100

問 市健康推進課

TEL 28・7123

森林づくり県民税の継続にご理解ご協力を

県では、平成20年度から「長野県森林づくり県民税」(森林税)を導入し、これまでに手入れの遅れた里山での間伐の推進を中心とした森林づくりを進めてきました。

森林の恩恵を受けている県民全体で森林づくりを支えるため、平成25年度以降も森林税を継続し、引き続き森林整備などを実施しますので、ご理解ご協力をお願いします。

◇市内の森林税を活用した間伐実績・平成20年度(6団地40ha)

鹿教湯地区、金剛寺地区、塩尻地区ほか

・平成21年度(14団地126ha)

生塚地区、下塩尻地区、奈良尾地区ほか

・平成22年度(19団地266ha)

大久保地区、腰越地区、角間地区ほか

・平成23年度(18団地316ha)

上塩尻地区、中丸子地区、戸沢地区ほか

問 上小地方事務所林務課

TEL 25・7138

問 市森林整備課

TEL 23・5124

市民活動団体の変更をご連絡ください

●内容 上田市ホームページ「上田市の市民活動団体」掲載の団体で、代表者交代など掲載内容に変更がありましたらご連絡をお願いします。また、新規掲載団体も随時募

集しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

●連絡先 FAX(22・4130)、またはメール(mat@city.neda.nagano.jp)で市民参加・協働推進課へ。

問 市市民参加・協働推進課

TEL 22・4100(内線1354)

賃貸住宅の敷金返還、原状回復などの無料相談

引っ越す際の敷金の返還、老朽化した設備の補修費用などの悩みごとをご相談ください(予約不要)。

●日時 2月12日(火)午前10時~午後4時

●場所 中央公民館

●申し込み 直接会場へお越しください。

問 長野県行政書士会

TEL 026・224・1300

今月の表紙



雄大な白銀の世界でスキー

「いいぞー上手い」「そのまま頑張れー」と仲間を応援する児童の元気な声が響きます。

1月4・5日に菅平高原スキー場で小学生初・中級者スキー教室が開催され、市内の小学5・6年生の78人が1泊2日の集団生活を体験しながらスキーを学びました。

1日目は、時折雪が激しく降る中でも児童は元気に「上手く滑れるようになって楽しい」「リフトに乗ってどんどん滑りたい」と笑顔で話し、快晴の2日目は遠く北アルプス連峰まで見渡せる絶景も見ながらスキーを楽しみました。

お知らせ

寄附金控除・生命保険料控除が変更されました

◇市・県民税の寄附金税額控除が拡充

従来の制度に加え税額控除の対象となる寄附金を拡大しました。対象となる寄附先は、独立行政法人、社会福祉法人、学校法人、公益社団・財団法人などで長野県内に事務所・事業所を有する法人または団体です。個人が寄附を行った場合には、平成24年1月1日以降支出された寄附金のうち2,000円を超える金額の10%が市・県民税から控除されます。

寄附金税額控除を受けるためには、寄附をした翌年の3月15日までに、寄附金受領証明書を添付して、所得税または市・県民税の申告を行う必要があります。また、寄附先が学校法人や特例民法法人の場合には、特定公益増進法人である旨を証明した書類の写しを添付する必要があります。

これとは別に、応援したい都道府県や市町村(上田市を含む)に寄附した場合、10%の税額控除の外に特例控除も受けられる「ふるさと寄附金」制度があります。特例控除には、「市・県民税の所得割の10%が限度」という制限はありますが、例えばふるさと寄付金として3万円を寄附した場合、所得税と市・県民税あわせて2万8,000円(2,000円を超える金額)が控除されます。上田市でも「夢に向かって！上田城復元プロジェクト」などをメニューとしてふるさと寄附金を募集していますので、市内外の上田市ファンへのお声掛けをお願いします。詳細は市ホームページにも掲載しています。

◇生命保険料控除が変更

生命保険料控除の制度が改正され、従来の「一般生命保険料控除」、「個人年金保険料控除」に加えて、「介護医療保険料控除」が新設されました。また、契約時期により適用される控除額も変更になりました。計算方法については、「平成25年度 市・県民税申告の手引」をご覧ください。

生命保険料控除の合計適用限度額	
所得税	120,000円
市県民税	70,000円
旧契約 (平成23年12月31日以前契約分)	
一般生命保険料控除 適用限度額 所得税 50,000円 市県民税 35,000円	個人年金保険料控除 適用限度額 所得税 50,000円 市県民税 35,000円
新契約 (平成24年1月1日以降契約分)	
一般生命保険料控除 適用限度額 所得税 40,000円 市県民税 28,000円	個人年金保険料控除 適用限度額 所得税 40,000円 市県民税 28,000円
新契約と旧契約の両方で 控除を受ける場合の適用 限度額	
所得税 40,000円 市県民税 28,000円	介護医療保険料控除 適用限度額 所得税 40,000円 市県民税 28,000円
新契約と旧契約の両方で 控除を受ける場合の適用 限度額	
所得税 40,000円 市県民税 28,000円	

問 市税務課 TEL23・5115

問

●入場料 無料
●市生涯学習課 TEL23・6370
／16日午後2時～

●内容／時間 人権作品・資料の展示／午前10時～午後4時30分(17日は3時まで)、人権作品表彰式／16日午後1時～、講演会「まず、知ってください」高根英貴氏(児童養護施設軽井沢学園職員)／16日午後2時～

●

●場所 中央公民館

●

●期日 2月16日(土)・17日(日)

●

●表彰式・講演会を開催します。

●

●人権作品・資料の展示、人権作品

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

●

●うえだ人権

●

●フェスティバル

ひとり親家庭の子どもに
卒業・入学祝い品を贈呈

市では、今年3月に中学校を卒業、または4月に小学校入学を迎える市内在住のひとり親家庭の子どもに、祝い品(図書券)を贈ります。該当する方はご連絡ください。

●受付期間 2月4日(月)～3月1日(金)

●市子育て・子育て支援課
TEL23・5106

催し

Information A La Carte

うえだ人権
フェスティバル

お知らせ

上田警察署新庁舎移転と業務開始

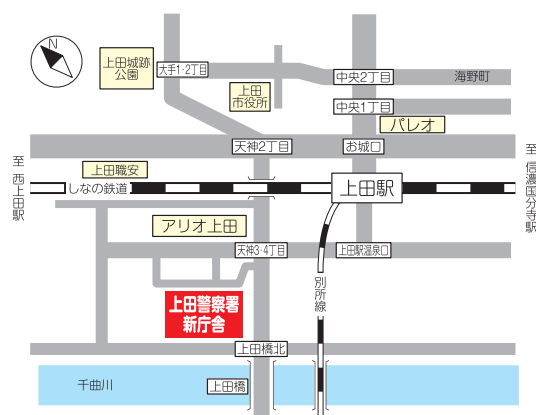
現在建設中の上田警察署新庁舎が、2月末に完成し、3月4日(月)から業務を開始します。

新庁舎の所在地、電話番号は次のとおりです。

●住所 〒386-8511 天神三丁目15番74号

●電話 22・0110

問 上田警察署 TEL22・0110



催し

さららの湯 特別感謝キャンペーン

開館15周年にあたり、日頃の感謝を込めて特別企画を実施します。

さららの湯の年間入館者数を当てた方へ、お米や優待券などを進呈します。さららの湯をご利用いただき、応募ください。

●応募期間 2月4日(月)～3月29日(金)

●応募対象者 平日の入館利用者(朝風呂は除く)。専用の応募用紙に3ポイントためるごとに1回の応募が可能です。

●賞品 1等賞「コシヒカリ20kg」1名、2等賞「さららの湯優待利用券10回券」1名、3等賞「コシヒカリ10kg」2名など

人がつながるしくみをつくる 山崎亮さん講演会

●応募場所 ささらの湯1階および2階フロント受付前
●発表 4月5日(金)(予定)
●室賀温泉さららの湯
TEL 31・1126



山崎亮氏

生涯学習シンポジウムでは、「情熱大陸」「クローズアップ現代」などに出演した山崎亮さんを迎え、「ふるさ

と」を核に、人がつながるしくみや、課題を解決するための具体的な方法を学びます。講演終了後、参加者同士の情報交換会を行います。

●日時 2月25日(月)午後7時～8時30分

●場所 上田駅前ビル・パレオ2階会議室

●内容 講演会「コミュニティデザイン」人がつながるしくみをつくる(午後7時～8時)、情報交換会(午後8時～8時30分、講師不在)

●講師 山崎亮氏(コミュニティデザイン、(株)studio1代表、京都造形芸術大学教授)

※コミュニティデザインとは、地域の意見を聞きながら、その地域の持っている力を高め、抱えている問題を自分たちの力で乗り越えていけるようにすること。

●定員 先着100名(市内在住・在勤者優先)

●参加費 無料

●申し込み 2月1日(金)～2月15日(金)に、電話、FAX(23・6368)、郵送(T38618601住所不要 生涯学習課宛)、または、メール(shogaku@city.uedanagano.jp)で生涯学習課へ。

●その他

・当日、情報提供ブースを設置しますので、紹介したいチラシやパンフレットなどがありましたら、お持ちください。

・当日の運営に参加するボランティアを募集します。

問 生涯学習課 TEL 23・6370

こころの健康づくり 講演会

日本の自殺者は14年連続で3万人を超え、上田市でも昨年は38人の方が自ら命を絶しました。自殺の背景にはうつ病などこころの病気があることが多く、その予防と早期発見・治療が大切です。自殺を防止するためにできることは何か、うつ病への対応も含めて分かりやすくお伝えします。

●日時 2月24日(日)午後1時(開場0時30分)

●場所 ひとまちげんき・健康プラザうへだ

●演題/講師 ①支えよう大切な命～自殺につながりやすいうつ病の理解と対応、誰もがなれるゲートキーパー/張賢徳氏(帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科科長・教授)、②精神科医療の現状～こころのケアは早期発見、早期治療がカギ/遠藤謙二氏(千曲荘病院院長)

●参加費 無料

●申し込み 不要

問 健康推進課 TEL 23・8244

お知らせ

所得税などの確定申告期間は2月18日(月)～3月15日(金)です

・平成24年分所得税の確定申告

確定申告をすれば市・県民税の申告は必要ありません。ただし、確定申告の必要はなくても、市・県民税の申告が必要になる場合があります。期間内に忘れずに申告してください。

●申告相談・申告書受付期間 2月18日(月)～3月15日(金)(土・日曜日を除く)

●公的年金などを受給している方

公的年金などの収入合計額が400万円以下で、かつ、公的年金などにかかる雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告は不要です(ただし、医療費控除や社会保険料控除、扶養控除や配偶者控除などを含めた市・県民税の申告は必要です。忘れずに申告してください)。

●申告をしなければならない方

①営業・農業・不動産所得などの所得合計額が各種控除合計額を超える方、②給与の年収が2,000万円を超える方、③給与所得者で給与以外の所得が20万円を超える方、④2か所以上から給与があり、給与以外の所得と年末調整されなかった給与の収入金額が合計で20万円を超える方など。※還付申告をする場合には、給与以外の所得の合計額が20万円以下であっても、それら全部を含めて計算しなければなりません。

●申告をすると給与や年金などから源泉徴収された所得税が還付される可能性がある方

①マイホームを住宅ローンなどで取得した方、②多額の医療費を支払った方、③災害、盗難などにあった方、④年の途中で退職し再就職していない方など。

●申告時の必要書類

源泉徴収票(原本)、領収書や証明書など、本人名義の預金口座のわかるもの、印鑑

●個人事業者の消費税、地方消費税

平成24年分の申告・納付の期限は4月1日(月)、振替納税の振替納付日は4月24日(水)です。

●イータックスをご利用ください

自宅から国税庁ホームページの電子申告「イータックス」を利用して申告すると最高3,000円の税額控除が受けられ(今まで控除を受けた方を除く)、添付書類の提出も省略できます。贈与税についても平成24年分から申告できるようになりました。申告期間中は24時間利用が可能です。

問 上田税務署 TEL22・1234

・市・県民税の申告で医療費控除などをお忘れなく

すでに所得税の申告を済ませ、税額が0円であった方でも、控除額が違うために市・県民税は課税になることがあります。この場合でも、医療費控除や社会保険料控除、扶養控除や寡婦(夫)控除などの申告により、市・県民税を軽減できる場合があります。例年、申告漏れが見受けられますので、忘れずに申告してください。詳しくは、各世帯に配布した「平成25年度 市・県民税申告の手引」をご覧ください。

●申告受付期間 2月18日(月)～3月15日(金)(土・日曜日を除く)

●場所 上田市民会館、丸子・真田・武石地域自治センターほか出張会場

問 市税務課 TEL23・5115

・無料申告相談と青色コーナー

◇無料申告相談会(税理士)

●期間 2月18日(月)～3月13日(水)(土・日曜日を除く)

●対象 小規模事業所得者(消費税申告含む)、給与所得者および年金受給者など。いずれも、譲渡所得のある方を除く。

◇青色コーナー(青色申告会)

●期間 3月5日(火)～8日(金)

◇共通事項

●時間 午前9時～正午、午後1時～4時(受付は午後3時まで)

●場所 上田市民会館

問 上田税務署 TEL22・1234

子育て支援のための講演会

子どもが自立し、自身の未来を開くために、保護者、または育ちを見守る者として、どういうことを心がけて子育てをしていったら良いのかを一緒に学びましょう。

- 日時 2月17日(日)午後1時～3時
- 場所 中央公民館
- 演題 「子どもの自立に必要な3つの大事なこと」

講師 小松裕明氏(長野市立芦田小学校教諭)

参加費 無料

申し込み 2月15日(金)までに、電話で学童保育所ふれんどへ(託児を希望する場合には、事前にお知らせください。申込時間/午後0時30分～7時)。

参加費 無料

学童保育所ふれんど

TEL 27・2051

菅平シユナイダー記念スキー大会

スキートの父と呼ばれたハンネス・シユナイダー氏の菅平来訪を記念して始まった大会です。アルペン一般大回転競技の参加者を募集します。

日時 3月20日(水・祝)

場所 菅平高原バインビークオオマツスキー場

内容 アルペン一般大回転競技。

催し

年齢や男女の部別に競技します。

対象 小学生以上どなたでも

参加費 一人3000円(小中学生は1500円)

申し込み 2月1日(金)～2月25日(月)に、所定の申込書を郵送(〒386-2201 真田町長宛)、または窓口へ。申込書は上田市ホームページからダウンロードするか、スキー大会事務局窓口で。

スキー大会事務局(教育事務所内) TEL 72・2655



持続可能な地域づくり活動報告会

「蚕都くらぶ・まぐゆ」では、長野県地域発元気づくり支援金を受けて、持続可能な地域づくりに取り組んできました。その2年間の成果を

報告し、新たな暮らし方を提案します。ぜひご参加ください。

日時 2月17日(日)午後1時30分～3時30分

会場 塩田公民館

参加費 無料

申し込み 不要。ただし、託児(無料、1歳6ヶ月以上)希望の場合は、2月14日(木)までに要予約。

蚕都くらぶ・まぐゆ(安井)

TEL 27・3186

企画展 「上田小県ひなめぐり」

市立博物館恒例の雛人形展。新上田市が誕生して8年目を迎えるにあたり、旧上田市のほかに旧小県郡の町村に範囲を広げ、江戸時代から昭和初期の

新たに確認された雛人形を紹介し、す。蚕種紙を台紙に使った

上田地域製と思われ、押絵雛もご覧下さい。

期間 2月9日(土)～3月26日(火)

場所 市立博物館



丸子図書館おはなし会

「塩川おはなしの会」のみなさんによる、大型絵本や紙芝居などを予定しています。

日時 2月16日(土)午前10時30分

場所 丸子図書館

丸子図書館 TEL 42・2414

喫茶・文化講座 プリザーブドフラワー

日時 3月11日(月)午後1時～3時30分

場所 池波正太郎真田太平記館交流サロン

講師 内田和美氏(ヨーロッパアンフラワードesign連盟認定講師)

定員 先着30名

受講料 2800円(材料費、お茶代含む)

持ち物 はさみ

申し込み 2月10日(日)～3月4日(月)に、電話で池波正太郎真田太平記館へ。

●開館時間 午前8時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
●休館日 水曜日・祝日の翌日(3月20日は開館)
●観覧料 一般250円、高校・大学生180円、小中学生60円(市内在住の高校生以下は無料)
●市立博物館 TEL 22・1274

日経ウーマン誌が「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2002」に選んだ

異文化理解講演会

問 信州上田医療センター
TEL 22・1890

● 肝臓病に対する食事や日常生活の送り方、治療方法などについて、当センターの医師が分かりやすく説明します。
● 日時 2月16日(土)午前10時30分～正午
● 場所 信州上田医療センター研修センター3階講堂
● 演題 「肝臓病―症状や年齢にあった食事、日常生活と治療―」
● 参加費 無料(参加者は駐車場無料、予約不要)

信州上田医療センター 第75回市民公開講座



問 池波正太郎真田太平記館
TEL 28・7100

催し

● 講師 浦本誉至史氏(東京部落解放研究所)

● 演題 「連続大量差別はがき事件」から考える

● 日時 2月8日(金)午後6時～7時30分

依田窪勤労者 部落解放学校第1講座



セーラ・マリ・カミングス氏

問 上田市多文化共生推進協会(A MU) TEL 25・2631

● 講師 セーラ・マリ・カミングス氏(株)一市村酒造場代表取締役
● 定員 500名
● 参加費 無料
● 申し込み 不要

● 演題 「セーラ流異文化理解とまちづくり」
● 場所 上田文化会館
● 日時 2月24日(日)午後2時～3時30分

● セーラ・マリ・カミングス氏の、小布施でのまちづくり体験を交えた講演会です。

問 県立歴史館
TEL 026・274・2000
県文化財・生涯学習課
TEL 026・235・7441

● 観覧料 一般300円、高・大学生150円、小・中学生70円(20名以上で団体割引あり。小中高生・特別支援学校生は土日祝日無料)
● 開催期間 3月3日(日)まで
● 開催場所 長野県立歴史館(千曲市屋代260-6)

時代が変わっても生き続ける日本の「美しい技」と、これを愛娘への贈り物とした想いを感じてみませんか。

● 参加費 無料
問 教育事務所 TEL 42・6682
● 企画展「愛娘の調度品―姫君様の婚礼家具から雛人形まで―」を開催しています。
● 親が愛娘のために丹精込めた品を贈る想いは、現代にも通じています。県立歴史館が所蔵する「丁子唐草葵紋蒔絵調度」も「田中平八家の雛人形・雛道具」も愛娘のために作られた逸品です。ふたつの資料を全品公開するのは初めてで、江戸時代の頂点であった徳川將軍家の姫君の婚礼道具と精巧な雛道具との見比べも目玉の一つです。

長野県立歴史館 企画展

<広告欄>



あおやぎ眼科

眼科各種手術 ●入院設備あります ●駐車場30台
(白内障・緑内障・網膜剥離術・硝子体切除術・眼瞼内反症・眼瞼下垂症等)

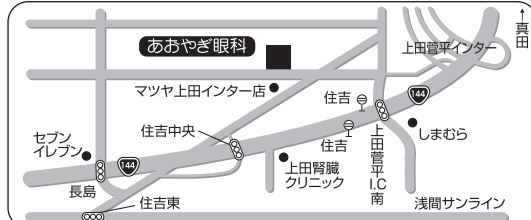
〒386-0002 上田市住吉577
(マツヤ上田インター店前)

TEL.0268(28)6688

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	×	○	○	○	○	○
午後2:30~5:00	○	手術	○	手術	手術	×

休診日

日曜・祝日・月曜午前・土曜午後
火曜午後(手術)・木曜午後(手術)
金曜午後(手術)



人権セミナー

◆第2講座

●日時 2月21日(木)午後6時～7時
30分

●演題 「アイヌの歴史と文化」

●講師 本田優子氏(札幌大学副学長)

◆第3講座

●日時 3月7日(木)午後6時～7時
30分

●演題 「へこたれへん」

●講師 松村智広氏(みえ人権教育・啓発研究会代表)

◇共通事項

●場所 丸子文化会館

●参加費 無料

●問い合わせ 教育事務所 TEL 42・6682

講座・教室

第6回

ひきこもり家族教室

何らかの原因でひきこもり状態になる方が増えています。ご家族のひきこもりについての理解と対応が本人の回復の第一歩につながります。ぜひ一緒に学んでみませんか。

●日時 2月25日(月)午後2時～4時

●場所 ひとまちげんき・健康プラザうえだ

●内容 ①講演「アサーションスキル(相手に受け入れてもらいやす

催し/講座・教室

い伝え方)を学ぼう」塚越洋子氏(子どもサポートうえだ心理相談員)、②交流会

●対象 市民

●参加費 無料

●申し込み 2月22日(金)までに、電話で健康推進課へ。

●問い合わせ 健康推進課 TEL 23・8244

カラーマッチング講座

パソコンのモニターで正確な色を表示させるためのキャリブレーションと、モニターとプリンタ出力の色合わせについて実践を交えながら講義します。

●内容 簡易キャリブレーション、キャリブレーター機器の使用

方法、ハードウェアキャリブレーションモニターのデモ、Photoshopを使用したプリンタと

のカラーマッチング

●講師 関利博氏(日本広告写真家協会正会員)、海野勝氏(日本広告

写真家協会正会員)

●日時 3月10日(日)午前10時～午後

4時

●場所 マルチメディア情報セン

ター

●対象 カラーマッチング、キャリ

ブレーションを学びたい方

●定員 20名(応募多数の場合抽選)

●受講料 2000円

●申し込み 2月1日(金)～3月3日

●申し込み 2月1日(金)～3月3日

●申し込み 2月1日(金)～3月3日

●申し込み 2月1日(金)～3月3日

●申し込み 2月1日(金)～3月3日

(日)に、電話でマルチメディア情報センターへ。

●問い合わせ マルチメディア情報センター

TEL 39・1000

Illustrator超入門 イラストを描こう

Illustratorを使って簡単なイラストを描きます。ペンツールや図形の描き方などの基本について知りたい方や、Illustratorを使ってみたい方向けの講座です。

●日時 3月3日(日)午後1時30分～

4時30分

●場所 マルチメディア情報セン

ター

●対象 文字入力ができる方

●定員 先着20名

●受講料 1500円

●申し込み 2月1日(金)以降、電

話でマルチメディア情報センタ

へ。

●問い合わせ マルチメディア情報セン

ター

TEL 39・1000

甲種防火管理再講習会

●日時 3月6日(水)午後1時30分～

4時10分

●場所 丸子ふれあいステーション

3階会議室

●対象 収容人員が300人以上の

「特定防火対象物」で防火管理者に

<広告欄>

債務整理

「借り過ぎ」より「払い過ぎ」を見直しませんか

相談無料です
お気軽に
お電話ください

お支払い中または完済された方でも
お取引が5年以上の場合、ご相談を。

払い過ぎ分を取り戻す 利息を引き下げる 業者の催促を停止する 支払いを一つにまとめる

無駄なく無理なく完済するまで私たちがサポートします

司法書士法人 あい和リーガルフロンティア

0120-182-388 認定司法書士 影嶋 広志

www.aiwa-law.com 長野県司法書士会会員登録番号690号

長野事務所/長野市南千歳1-3-3 アレックスビル3F TEL.026-269-8777

東京本社/東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-6 プラザF1ビル202 TEL.03-5919-2444

あい和リーガル
フロンティア 長野事務所

受付/9:00~19:00(月~土曜)

選任されている方のうち、過去5年以内に講習会を受講していない方

●定員 先着80名

●参加費 上小防火管理者協議会員15000円、一般20000円

●申し込み 2月6日(水)以降、上田地域広域連合消防本部予防課、または東御・丸子・真田・依田窪南部消防署窓口へ。

問 上田地域広域連合消防本部予防課 TEL26・0029

カラダげんき栄養教室

●日時 ①基礎編 2月21日(木)午後1時30分～3時(受付1時15分)～、②応用編(実習) 同月27日(水)午前9時30分～午後0時30分(受付9時15分)～(①と②でセット)

●場所 ひとまちげんき・健康プラザうえだ

●内容 ①自身の身体の状態に合った食事の適量を学ぶ、②実際に調理して味わい、日常の食生活を見直す

●対象 20歳以上の市民

●定員 先着15名

●参加費 3500円

●持ち物 ①健診や人間ドックの結果、血液検査結果など(お持ちの方)、②エプロン、三角巾、ハンドタオル、ご家庭で使っているご飯茶碗

●申し込み 2月4日(月)～2月19日(火)に、電話で健康推進課へ。

問 市 健康推進課 TEL28・7124

本場中国の家庭料理 水餃子作り

中国出身で市内在住の講師を迎え、中国家庭料理の手作り水餃子を作ります。皮から作る、本場の味を楽しみましょう。

●日時 2月17日(日)午前10時～正午

●場所 中央公民館

●講師 范英如氏 はんえいじょ

●定員 先着20名

●参加費 7000円(材料費含む)

●申し込み 2月12日(火)以降、電話で中央公民館へ。

問 中央公民館 TEL22・0760

第3回家庭介護教室

車いすへの移乗方法や家庭でできる関節拘縮(こうしゆく)予防運動について学びます。

●日時 2月14日(木)午後2時～3時30分

●場所 信州上田医療センター研修センター3階講堂

●参加費 無料

●申込期限 2月13日(水)

●申し込み 電話で信州上田医療センター1地域医療連携室へ。

問 信州上田医療センター1地域医療

連携室

TEL22・1890(内線4223)

精神障がい者家族教室

●日時 2月13日(水)午後1時30分～3時30分

●場所 上田創造館

●テーマ 「事例から学ぶ家族の関わり方」

●対象 精神障がい者の家族

●参加費 無料

●申し込み 不要

問 地域活動支援センターやすらぎ TEL25・2000

データベースを活用してみませんか?

「ルーラル電子図書館ほか情報検索セミナー」を開催します。日常生活でふと疑問に思ったことを用途に応じたデータベースで検索してみましょう(参加費無料)。

●日時 2月28日(木)午後1時30分～3時30分

●場所 上田情報ライブラリーセミナールーム

●定員 先着14名

●申し込み 2月8日(金)以降、電話で上田情報ライブラリーへ。

問 上田情報ライブラリー TEL29・0210

<広告欄>

医療法人三折堂

宮下 医院

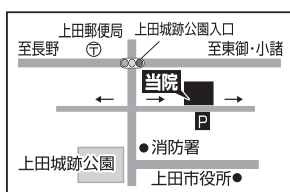
神経内科・内科・胃腸内科

〒386-0023 長野県上田市中央西1-15-12

TEL0268(22)4328 FAX(26)8231

- 理事長/宮下美生 消化器病専門医(日本消化器学会認定)
- 院長/宮下暢夫 神経内科専門医(日本神経学会認定)

診療時間 午前 9:00～12:00
午後 3:00～6:00
(胃腸内科は午前のみ)
休診日 土曜午後・日曜・祝日



神経内科 ※予約制

頭痛・めまい・しびれ・ふるえ・歩行障害・認知症などを来たす脳神経系の病気を診断し、内科的に治療する科です。

主要設備

オープン型MRI、超音波検査装置(腹部一般、頸動脈エコー)、胃・大腸内視鏡、レントゲン、筋電図検査装置等

楽しいひな祭り 料理教室(託児付)

- 日時 2月28日(木)午前10時～午後1時
- 場所 神川地区公民館
- 講師 菊地貴美子氏(製菓衛生師)
- 内容 ひな祭りお祝い膳の料理
- 対象 初節句を迎える生後4か月以上のお子さんのいる方
- 定員 先着15名
- 参加費 800円(材料費含む)
- 持ち物 エプロン、バンダナ
- 申し込み 2月12日(火)～22日(金)午前9時～午後4時に、電話で神川地区公民館へ。

募集

認知症高齢者等支援ネットワーク協議会委員募集

- 応募資格 市内在住の20歳以上の方(公募により他の審議会へ参画されている方は、応募できません)
- 募集人員 若干名
- 任期 委嘱の日から2年間
- 審議の内容 認知症高齢者などが、地域で安心して暮らすことができるよう、認知症対策を積極的に推進することに関し、市長の諮問に応じて調査審議します。
- 応募方法 所定の申込書(高齢者

講座・教室・募集

介護課、または市ホームページにあり)に必要な事項を記入し、高齢者介護課に提出してください。後日、面接により決定します。

- 応募締切 2月20日(水)
- 高齢者介護課

TEL 23・5140

上田市地域防災計画 修正に対する意見募集

市では、東日本大震災や平成22年夏に市内で発生した大雨による被害などの教訓や課題を踏まえ、市の防災対策の指針となる「上田市地域防災計画」の修正作業を進めています。この計画をよりよいものとするため、幅広く意見をいただき修正内容に反映することを目的に、市民の皆さんからの意見を募集します。

- 募集期間 2月6日(水)～26日(火)
- 修正案の閲覧場所 危機管理防災課(市役所本庁舎3階)、各地域自治センター、または市ホームページ
- 提出方法 所定の記入用紙(市ホームページからダウンロード、または、閲覧場所に備え付け)に住所、氏名、電話番号を記入し、郵送(〒386-18601住所不要 危機管理防災課宛)、FAX(25・4100)、メール(kiki@city.naganano.jp)、または、危機管理防災課へ直接持参してください。電話での受付はしません。

市危機管理防災課

TEL 21・0123

武石ともしび博物館 茶道教室11期生募集

4月から2か年で、略手前を習得する茶道教室で学びませんか。茶道に興味のある初心者の方なら、年齢や性別は問いません。

- 日時 4月～平成27年3月までの2年間、原則として毎月第1・3木曜日午後1時30分～4時
- 場所 武石ともしび博物館茶室「煙庵」
- 指導 市川喜美子氏(表千家地方教授)
- 定員 先着10名
- 会費 月額2000円
- 申し込み 2月1日(金)～2月22日(金)に、電話で市立博物館へ。

市立博物館

TEL 22・1274



<広告欄>

脳活教室

脳活教室とは、体と脳の関係を活発に使うことのできる教室です。つまづいて転ばなくするための、マーカー歩行運動やバランス練習。また、物忘れ防止のための記憶練習や脳トレなどを行ないます。

どなたでも安心してご参加できます。

対象 60歳以上の方

体験1回 525円 (税込)

日程	時間	定員
毎週月曜日	13:00～14:00	各5名
毎週火曜日	10:30～11:30	
毎週金曜日	15:00～16:00	

フロントにてご予約受付中です♪

axilos SPORTS CLUB

楽しい、楽しい、気持ちいい
スポーツクラブアクロス上田

〒386-0153 長野県上田市岩下235
TEL.0268-36-1711

営業時間 月曜～土曜・祝日 10:00～23:00 日曜日 10:00～18:00
休館日 毎週木曜日 年末年始臨時休業

ホームページをご覧ください▶ **アクロス上田** 検索

個人レッスンなので安心です
火曜日・金曜日は **1,050円** 個人レッスン

上田のお宝発見!

市内の国指定文化財を紹介するコーナーです。

少年少女サッカー大会 参加チーム募集

サッカーを通じて青少年の健全な心身の発達と相互の親睦を図ることを目的としたサッカー大会を開催します。

●日時 3月16日(土)・17日(日)・予備日20日(水・祝)

●場所 上堀グラウンド

●競技方法 8人制ミニサッカー、

高学年の部(男女4〜6年生)、低

学年の部(男女1〜3年生)、女子

の部(女子1〜6年生)。チームは

原則育成会単位で編成。

●参加費 1チーム30000円(2

月27日(水)の監督会議で徴収)

●申し込み 2月20日(水)までに、所

定の申込用紙(申込窓口または、市ホームページにあり)で郵送(〒386-0025 天神2-4-74 スポーツ推進課宛)、または、直接スポーツ推進課、丸子総合体育館、真田・武石教育事務所へ。

問 市スポーツ推進課

TEL 23・6372

都の香りをはこぶ中部地方最古のお堂

「中禅寺薬師堂」



中禅寺薬師堂(全景)

田城に入り東北信一帯に勢力を広げましたが、敗北によって源頼朝の支配下に入りました。中禅寺薬師堂は、そんな時代の平安時代末期から鎌倉時代初期の建立と考えられています。

この薬師堂は、茅葺き屋根で、屋根面が頂上の

塩田平の南方、独鈷山の麓に中禅寺薬師堂があります。平安時代の終わり頃、塩田地域は後白河院の女御の建春門院の

願いで建てられた寺院「最勝光院」の領地となりました。その直後、木曾義仲が依

一点に集まり、真上から見ると正方形をしています。屋根の頂上に露盤という四角い台をのせ、その上に宝珠が置かれています。これを「宝形造」といいます。壁は板を横に張り、扉は正面に3か所、それ以外の三面に1か所ずつあります。平安時代の終わり頃に盛んに行われた「阿彌陀堂形式」という建て方で、岩手県平泉の中尊寺金色堂がその代表的な例です。

内部は、堂の中ほどに4本の丸い柱を立て、これらに囲まれた場所に仏を安置する須弥壇が設けられています。須弥壇の位置は、時代が新しくなるほど堂の後ろの壁の方へ下げられるようになりますので、この薬師堂は様式の面からも古いことがわかります。

このお堂の薬師如来像は国の重要文化財に、仁王門の金剛力士像は県宝にそれぞれ指定されています。塩田地域が都とのつながりを持っていた時期を中心に、優れた仏教文化を取り入れたことがうかがえます。

問

市文化振興課

TEL 23・6361

<広告欄>

ぬくもりと笑顔あふれる、本物の住まい



東御市 眺楽の家

当社は全棟

★長野県産材(木曾ひのき・遠山杉・信州唐松・信州赤松)

★長期優良住宅

★ふるさと信州・環の住まいで造ります!

イベント予定

■2月10日

■2月24日

■陽なたの家

住まい教室

お住まい訪問見学会

毎週土日はお住まい相談会開催中!

※詳しくはHPをご覧ください

陽なたの家 開館日:土曜・日曜・祝日 AM10:00~PM4:00
モデルハウス 平日・上記時間外でもご連絡いただけましたら
ご案内致します。

太陽光発電 + OMソーラー
光と熱を上手に使う
ハイブリッド住宅です!

陽なたの家



美し信州建設株式会社
TEL 0268-27-6667

うえだこどもまつり 参加催事団体募集

うえだこどもまつり実行委員会では、5月5日開催予定の「第42回うえだこどもまつり」に向け、参加する催事団体と実行委員を募集します。

多くの子どもたちに楽しんでもらう催事をやりたい方、子どもたちのために実行委員として参加したい方をお待ちしています。

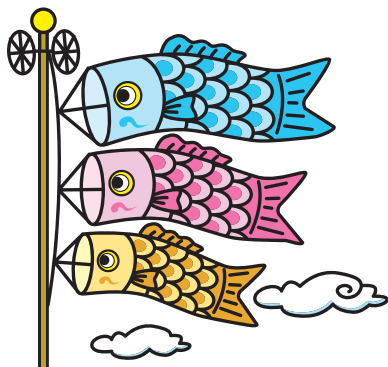
月2回・木曜日夜に、実行委員会会議を勤労青少年ホームで開催予定です。

●申し込み 電話で生涯学習課へ。

●その他 こどもまつり公式サイト

<http://comich.net/kodomo/>

問 市生涯学習課 TEL23・6370



丸子霊園利用者募集

●所在地 上丸子1222番地

●区画数 2種(4.9㎡)3区画、3種

募集

(6.6㎡)1区画

●管理料(年間) 2種15000円、3種20000円

●永代使用料 2種8万7000円、3種11万6000円

●応募資格 市内に住所があり、墓地をお持ちでない方。

●申し込み 2月12日(火)以降、電話で丸子市民生活課へ(先着順)。

問 市民生活課 TEL42・1216

公民館社会教育指導員 (嘱託職員)を募集

主に青少年育成または人権同和教育を担当し企画運営に携わるほか、地域に入って分館活動などのお手伝いやアドバイスをを行います。

●募集人員 若干名

●応募資格 生涯学習・公民館活動に熱意のある、平成25年4月1日現在、満22歳以上62歳以下の市民

●任用期間 4月1日～平成26年3月31日(勤務状況により更新あり)

●勤務場所 市内公民館

●任用形態 非常勤職員(嘱託職員)

●勤務時間 週30時間(勤務は、土日祝日や夜間になることもあります)

●報酬 月額15万5900円(通勤手当あり、社会保険加入)

●申し込み 2月18日(月)までに、履歴書(写真貼付)とレポート(800字程度、様式自由)を教育総務課へ提出してください。レポート

平成25年度信濃寮入寮生募集

テーマは「地域の青少年育成について」、または「地域の人権同和教育について」のどちらかとなります。

●選考方法 書類審査、面接審査選考結果は、郵送または電話で通知します。

問 市教育総務課 TEL23・5100

●所在地 東京都小金井市東町3-17-43

●寮費 月約4万円(部屋代、朝夕食費、電気・水道代含む。別途入寮金4万円)

●対象 長野県出身の男子で、首都圏の4年制(医・歯・薬学含む)大学の入学予定者、および在籍者。

●募集人員 約20名

●申し込み 入寮願書の請求方法、および、出願手続きなどはホームページをご覧ください(<http://shinanoryo.sakura.ne.jp>)。

●選考 3月17日(日)までに、書類選考・当寮にて面接のうえ決定。

問 財信州学生協会信濃寮

TEL0422・32・5479

※「情熱地域」は休載しました。

<広告欄>

補聴器無料お試し体験会開催

『補聴器は雑音うるさくて』という声にお答えして、お耳の形と聴力に合わせた補聴器でお試しいただけます。



補聴器のタイプも多種多様です。現在で使用する補聴器にご不満を抱えている方、初めてのご使用を考えている方に、十分に納得していただけるまでご相談に応じます。その上でお客様の耳の形や生活に適した補聴器を、何度でもお試し頂き、最適な補聴器をお届けします。

■雑音抑制機能付き完全全自動補聴器
販売価格 140,000円～(非課税)
☆代金の分割払いも承りますのでご相談ください。
補聴器用電池1パックいつでも 630円

◎補聴器ご購入のポイント

1. 正確に聴力を測定すること ※聴力測定で、ご自分の難聴の種類と程度がわかります。
2. お耳の形と現在の聴力にぴったり合わせる ※正確に調整できる設備と技術
3. ご購入後も安心してご利用いただける生涯アフターメンテナンス ※補聴器は身体に付けてご利用いただくもので、定期的にご点検、お掃除がずっと必要になる機械です。

★全国100店舗ネットの補聴器専門店。真心と誠実がモットーのゆっくり、じっくり相談できるお店です。お気軽にご相談下さい。聴力測定室も完備。

世界の補聴器のリードメーカー、オーディコン、シーメンス補聴器etc

北陸補聴器株式会社 身体障害者福祉法補聴器委託契約店

信濃補聴器センター

上田市中央3丁目5-22 上田市ふれあい福祉センターとなり

☎(0268)23-0428

■営業時間 午前9時～午後5時 ■定休日 毎週日曜・祝日・第4土曜日
■ご相談により、時間外相談も承ります。お気軽にどうぞ。



有料広告掲載のお問い合わせは、上田市秘書課(Tel23・5149)または(有)ダンディ信濃・トミー企画(Tel23・1706)へ。

姉妹都市 和歌山県九度山町との交流事業 九度山世界遺産マラソン大会に市民ランナーが参加

上田市と九度山町との交流は、関ヶ原の合戦後、真田昌幸・幸村親子が徳川家康から九度山に蟄居を命じられ移り住んだことが縁で、昭和52年に旧真田町と九度山町が姉妹都市提携したことから始まります。平成8年には、姉妹都市交流事業として真田町一周駅伝大会に九度山町から出場チームを招き、以降、この

1月20日、姉妹都市の和歌山県九度山町で第5回九度山世界遺産マラソン大会が開催され、上田市から市民ランナー9人が参加しました。このマラソン大会は、以前は九度山町民マラソン大会として開催していましたが、平成16年7月7日に「紀伊山地の霊場と参詣道」がユネスコの世界遺産に登録されたことから名称を変更し、九度山世界遺産マラソン大会として開催されています。



交流は上田市になった後も続いています。こうしたつながりから、節目である第5回を迎えた九度山世界遺産マラソン大会に、上田市からも参加することになりました。

大会は、小中学生が参加する1〜3kmの部と、高校生以上が参加するハーフマラソンの部などがあり、約600人が参加しました。

マラソンコースは、世界遺産近くを周回するコースもあり、高低差があることから、九度山町の豊かな自然を見渡すことができます。コース付近には、世界遺産である慈尊院、丹生官省符神社、高野山町石道があり、世界遺産を肌で感じられるイベントとなっています。

大会当日は、天候にも恵まれ、絶



慈尊院の前を走る市民ランナー

上田市から参加した市民ランナーの感想

大井敏子さん(上田原)・前列右

「普段練習している場所と違って、アップダウンがきつかったですが、景色も良く、気持ちよく走れました。また、文化遺産からパワーをもらい、くのいちの忍者衣装も楽しかったです。」

土屋和嘉子さん(大屋)・前列中央

「アップダウンがきつかったですが、素晴らしい景色をみながら走りきることができました。」

山岸定彦さん(長瀬)・前列左

「走り終わって達成感があり大変満足しましたが、なによりも、九度山町の皆さんの温かい人柄が感じられました。未永くお付き合いさせていただきたいです。」

好のマラソン日和となり、上田市から参加した市民ランナーには九度山町民から温かい声援が送られ、みごと全員が完走することができました。市民ランナーの中には、真田氏にちなんで忍者の衣装を着て出走した方もいました。

大会全12種目の第7位の入賞者には、上田市長賞として信州上田の農産物詰め合わせが贈呈されました。

マラソン大会当日は、九度山町と上田市が物産販売を行い、上田市からは、リング、みそ、そば、野沢菜などを出展販売し、中でもリングは大好評でした。



プロ選手の指導でレベルアップ

たけし少年野球教室

12月15日、武石小学校の校庭で「たけし少年野球教室」が開催され、武石少年野球クラブや近隣の少年野球チーム5団体58人が参加しました。

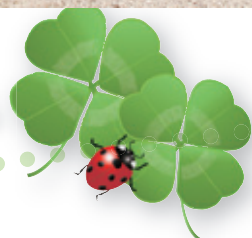
この教室は、プロ野球選手を講師に招き、成長期にふさわしい野球の指導を受け、子どもたちだけでなく、指導者のレベルアップも目的に、たけしスポーツクラブ・少年野球教室実行委員会が、市のわがまち魅力アップ応援事業の補助を受け開催したものです。講師はオリックス・バファローズ一軍の深江真登選手(松商学園高等学校出身)、元読売ジャイアンツの田中健太郎さん(松商学園高等学校出身)で、走り方、バットやグラブの構え方など基礎的なものから、フライの捕り方やバントの仕方など約2時間に渡り指導を受けました。

参加した武石少年野球クラブピッチャーの児玉梨樹さん(武石小6年)は、「参加できてうれしかった。プロの深江選手と対戦してスイング(空振り)を2回とれました。もっと一生懸命練習して、将来はプロ野球選手になりたい」と話していました。



武石

四ツ葉スケッチ



美味しいお汁粉で新年をスタート

丸子少年少女柔剣道教室初稽古

丸子



柔道教室の黒岩海斗さん(丸子北小6年)は、「お汁粉会は毎年楽しみにしています。今年で最後の参加になりましたが、3月の閉校式までしっかりと稽古したいと思います」と話していました。

子どもたちは、指導する先生の挨拶の後に順番でお汁粉を受け取ると、笑顔いっぱいでおぼり、食べ終わるとすぐに列に並び、餅を「6枚食べたよ」、「7枚食べたよ」と話しながらお代わりして食べ、会場は美味しそうなお汁粉を食べる子ども達の元気な笑顔や歓声に包まれました。

お汁粉は、青少年健全育成活動の一環として依田窪少年警察ボランティア協会の皆さんが毎年作ってくれるもので、子ども達が楽しみにしている行事の一つです。

1月12日、丸子総合体育館を会場に、丸子少年少女柔剣道教室の初稽古とお汁粉会が行われました。柔道教室は武道場、剣道教室は体育館に分かれて稽古が始まると、冷えた空気を吹き飛ばすような子ども達の大きなかけ声が会場に響きました。

初稽古の後は、丸子解放センターに会場を移し、恒例の鏡開き式とお汁粉会が行われました。お





1月6日、真田少年スポーツ教室の剣道教室初稽古が真田体育館で行われました。この日は剣道教室で稽古する真田地域の小学生22人に加えて真田中学校剣道部の生徒6人も初稽古として参加しました。

凍てつくような冷たい床の上で裸足での稽古が始まると、身が締まるように冷えた体育館に大きな気合の声と打ち込まれる竹刀の音が響き渡り、寒さを吹き飛ばすように子どもたちが熱心に稽古をしました。

剣道教室リーダーの若林翔輝さん(本原小6年)は、「寒かったけれど皆で稽古が出来て楽しかった。小学校を卒業するまでに何回か大会があるので良い成績を収めるように頑張りたい」と話していました。

稽古の後には保護者や指導者の皆さんが準備した餅つきが行われ、竹刀を大きな杵に持ち替えた子どもたちが賑やかに元氣よく餅をつき、保護者の皆さんにお雑煮にしてみました。



武道を通じて心身を鍛える 寒さを吹き飛ばす大きな気合

このコーナーでは、4地域の話や出来事などを紹介しています。

七高展を開催 交流・文化施設の仮囲いに高校生の美術作品

12月7日から9日まで上田市文化センターで、第37回七高展が開催されました。七高展は、上田千曲、上田、上田染谷丘、上田東、丸子修学館、東御清翔、上田西の上小地区7高等学校の美術クラブの合同作品展です。6日には、講評会が行われ、出品作品1点ずつを先生と生徒が見ながら、感想やアドバイスを述べ合いました。

この作品展に出品された77作品は、平成26年秋の開館を目指し、工事が進む交流・文化施設の工事現場を囲む仮囲いの壁面にラッピングされます。これは、工事施工者の地域貢献活動の一環で、育成を運営目標とする新施設にふさわしく、子どもたちの作品で工事現場に彩りを与えるもので、今回の高校生の作品に続き、今後、多くの子どもたちの作品が順次仮囲いに展示される計画です。

交流・文化施設の仮囲いに自分たちの作品が展示されることについて、田中麻央さん(丸子修学館高等学校2年・美術部部长)は、「作品の思いや、表現したいもの、努力を見て感じてもらえると嬉しい」、坪川良祐さん(上田千曲高等学校3年・美術班班长)は「とても貴重な機会で、色々な人に作品を見てもらえるので楽しみです」と感想を話していました。



塩田公民館



森 このみさん
(塩田中学校出身)
実感があまりありませんが、社会人の一員として新たに気を引き締め、世の中に貢献していける人間になりたいと思います。



丸子文化会館



あやか
掛川 純花さん
(丸子中学校出身)
介護関係の専門学校へ通っていますが、ふれあいを通じて心のつながる、また地域に貢献する仕事として、将来、介護関係の職に就き、長く続けたいと思っています。



真田中央公民館

滝沢 かおりさん
(真田中学校出身)
成人を迎え、一人の大人として人に頼り過ぎず自分の考えに責任を持って行動していきたい。また、4月から就職するので両親に恩返ししていきたいです。



武石公民館



たくま
大沢 拓真さん
(依田窪南部中学校出身)
小学校の恩師の言葉「挑戦、それから努力、結果はあとからついてくる」を胸に、様々なことにチャレンジして責任のある大人になりたいと思います。



平成25年

上田市成人式

1月13日、上田市成人式が市内7会場で開催され、平成4年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた新成人1,265人が出席しました。

新成人からなる成人式実行委員会がアトラクションの企画、式当日の受付や司会などを担当し、地域の特徴を生かした内容の式典は、和やかな雰囲気の中、開催されました。

華やかな振り袖やスーツに身を包んだ新成人たちは、家族、恩師、地域の方々への感謝と新たな誓いを胸に、成人としての第一歩を踏み出しました。

各会場の成人式実行委員長の成人を迎えての抱負や気持ちと、会場の様子を紹介します。



市民会館



ちあき
三井 千晶さん
(第一中学校出身)

今までは教育を受ける側にいましたが、新成人となったこれからは、社会人の一員としての自覚を持ち自立したいと思います。



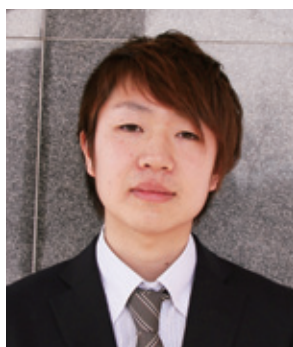
上田創造館

西川 みゆきさん
(第六中学校出身)

大人になることを自覚し、社会のルールなどを守っていくことと、これから就職しますが、社会の中で活躍していきたいと思います。



上野が丘公民館



すぐる
竹内 傑さん
(第五中学校出身)

大学生なので勉学に励み、責任を持った行動をし、しっかりと見本になるような大人になりたいと思います。





10月に丸子文化会館で行われた地区大会で歌う丸子中央小学校合唱クラブ

丸子中央小合唱クラブが優秀賞を受賞 記事投稿／丸子中央小学校合唱クラブ保護者会

11月25日、東京都江戸川区総合文化センターで開催されたTBSこども音楽コンクール・東日本優秀演奏発表会Bブロックに、長野県代表として出場した丸子中央小学校合唱クラブが、優秀賞を受賞しました。

丸子中央小学校は昔から合唱が盛んで、NHK合唱コンクールの県大会には18年連続出場し、4年前には全国大会への出場も果たしています。合唱クラブは、5・6年生の計53人。学校生活の中で歌うことが習慣づいている丸子中央小学校の伝統の中で、先輩たちの歌声を引き継ぎ、仲間と歌うことを楽しみながら、毎朝授業の始まる前と毎週土曜日に練習を重ねてきました。

コンクールでは、互いに仲間を信じ、心を一つにして作り上げたコンクール曲「信じる」の歌声に、会場からは惜しみない大きな拍手が送られました。保護者も夢と感動をいただき、こんな素敵なプレゼントをしてくれた子どもたちに感謝の気持ちでいっぱいです。

コンクールの後にクラブ長の小相澤千夏さん(6年生)は、「最後のコンクールで、自分たちらしい表現で歌えたこと、心を一つにして今までで最高の『信じる』が歌えたことが嬉しいです」と受賞の喜びを話していました。

12月14日には、満席の丸子文化会館でさよならコンサートが行われ、6年生が引退。次年度に向けて、パトンは5年生に託されました。



毎朝の練習の様子

読者通信は、市民の皆さんからの話題提供や投稿でつづるコーナーです。

ご意見をお寄せください

「広報うえだ」へのご意見・ご要望などをお寄せください。

- ▶郵送 〒386・8601 住所不要 上田市秘書課宛
- ▶TEL 23・5149 ▶FAX 23・5241
- ▶Eメール koho@city.ueda.nagano.jp

災害や安全・安心に関する情報をいつでも、どこでも

緊急情報はメール配信で

登録は、次のアドレスに空メールを送るか、右の二次元バーコードをご利用ください。
mail_reg@www.city.ueda.nagano.jp

☎ 秘書課 TEL23・5149



登録アドレス

人の動き (平成25年1月1日現在)
()内は外国人の人数です。

人口：161,947人 男：79,176人 女：82,771人 世帯数：65,298世帯
(3,677人) (1,738人) (1,939人)

市政提言電話(留守録):0268・25・2539 市政提言FAX:0268・23・5111
市政提言メール:mayor@city.ueda.nagano.jp
上田市ホームページURL:http://www.city.ueda.nagano.jp/

この印刷物はグリーン購入法の基準を満たす紙を使用しています。

